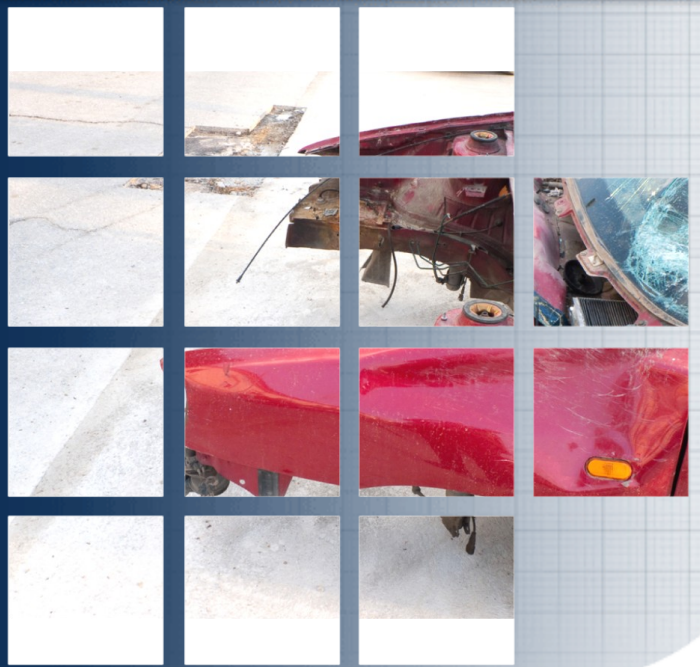


車両 ID のための グローバル戦略



世界市場戦略構築のための分析レポート

自動車メーカーは国によって異なる様々な法規制や保険要件に準拠する最適な車両 ID を策定する必要に迫られています。一方で、車両 ID 識別技術はユーザー利点が不明瞭なものが多く、コストをかけずに導入するという課題もあります。最適な策定を行うために自動車メーカーは様々な技術のメリットや機能性を検証し、実現できるコストを把握した上で、どんな技術が取り締まり側に求められ、窃盗犯に嫌がられるのかを理解する必要があります。

本書は、各車両 ID 機能の包括的概要、承認基準、窃盗犯の取り外しもしくは改ざん技術等を掲載し、車両 ID 技術戦略策定に最適な情報をまとめた内容となっています。自動車メーカーの標準装備あるいはアフターマーケット製品として提供されている、必須とオプション機能を含む車両 ID マークの解説を行っています。各車両 ID マークのコスト、耐偽造性、実用性等を比較・分析しています。



本書では以下のような内容を取り上げています：

- 窃盗犯による既存の車両 ID 攻略法を理解し、車両の安全性の確保を目指す
- 世界各国の車両 ID に伴う法規制や要件に準拠する方法
- 各車両 ID 識別方法の特徴とコストを検証し、採用する技術を決める
- 成功する戦略構築のための SBD からの提言

詳細に関するお問い合わせは、下記にて承っております。

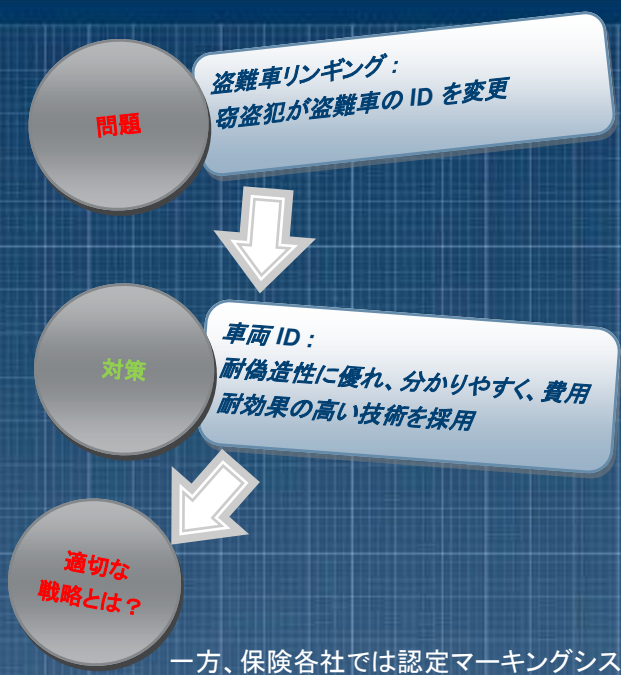
SBD ジャパン

太田千絵

e-mail : cohta@sbdjapan.co.jp / Tel : 052-253-6202



盗盗犯は一般的な識別マークを変更する技術を備えている



盗難車の車両回収率向上に最も適した車両識別方法とは？

車両盗難の目的は他の犯罪への使用やパーツ売却等とさまざまですが、その多くは車両本体の国内売却もしくは組織的犯罪グループの関与による国外での売却が目的とされています。

窃盗犯は摘発を逃れ、盗んだ車両 ID を売却のために変更し、車両を正規車両と見せかけ中古車購入者や警察捜査官を欺こうとしています。

結果、窃盗犯は車両 ID に関する知識や技術を高めており VIN プレート、シャシースタンプ、追加 VIN ラベル等の一般的に法で規定されている ID の改ざんには高い技術を有しています。

一方、保険各社では認定マーキングシステムへの保険料割引を提供する事で、新たな識別方法の導入を推進しています。更に多くの政府は法規によるマイクロドット装備の調査を進めていますが、制度導入には膨大なコストがかかる事もあり、ほとんど実現は困難と見られています。

新車の車両 ID レベルの向上は自動車メーカーが担っているのが現状ですが、開発コスト負担が高くなる上に、ID マーキングの耐偽造性の高さを決め手に車両を購入する人はいない事から、自動車メーカーにとってはほとんどメリットがありません。

更に自動車メーカーや窃盗犯は秘匿マーキングのように読み取りに時間と手間、専用ツールが必要な場合など盗難捜査で必ずしも全ての車両識別形式がチェックされる事はない事を認識しています。チェックされないマーキングは警察、保険会社、自動車メーカー、車両所有者の誰の役にも立ちません。世界各国で盗難車捜査チームの解散が相次ぎ、偽装 ID チェックの専門捜査官が減少している中、窃盗犯が摘発を逃れるためには基本的な ID を改ざんすれば良いのが現状で、窃盗犯にとって有利な傾向になりつつあります。

窃盗犯は簡単に変更ができず、捜査員及び一般ユーザーにはチェックしやすく、自動車メーカーにとって費用対効果の高い車両 ID を開発し装備する事が今後の課題と言えます。

本書ではナンバープレートやシャシースタンプ等のシンプルな ID から、高度な電子トレーサビリティ部品まで、さまざまなタイプの車両 ID を分析・検証し、追加コスト、耐偽造性、機能性の各分野での評価を行い、適切な車両 ID 開発のための戦略策定の提言をしています。



》》 ...know what tomorrow brings

目次

1. 要旨

- 1.1 はじめに
- 1.2 概要
- 1.3 結論
- 1.4 SBD の提言

2. 背景

- 2.1 盗難問題
- 2.2 保険会社
- 2.3 警察
- 2.4 自動車メーカー
- 2.5 自動車所有者

3. 法規と保険基準

- 3.1 グローバル要件
- 3.2 オーストラリア
- 3.3 ドイツ
- 3.4 南アフリカ
- 3.5 スウェーデン
- 3.6 米国
- 3.7 英国
- 3.8 世界各国のまとめ

4. 識別形式の分析

- 4.1 分析と提言

5. 基本 ID

- 5.1 ナンバープレート
- 5.2 VIN を使った対策
 - 5.2.1. VIN プレート
 - 5.2.2. 追加 VIN ラベル
 - 5.2.3. シャシースタンプ
 - 5.2.4. ビジブル VIN
- 5.3 ガラスエッチング

6. 高度 ID

- 6.1 マイクロドット
- 6.2 秘匿マーキング
- 6.3 バーコード

7. 電子 ID

- 7.1 VIN の電子的記録
- 7.2 トレーサビリティの代替利用
- 7.3 無線 IC タグ(RFID)

図表一覧

- 図 1. 車両 ID の市場牽引要素
- 表 2. 車両 ID 基準の概要
- 表 3. NMVTRC の認証基準—マイクロドット取付場所
- 表 4. RCAR 新車防盜性評価の配点
- 表 5. AZT の 5 スター防盜性認定評価—車両識別関連基準
- 図 6. 南アフリカのマイクロドット規格—マーキング場所
- 表 7. 米国における必須マーキング場所
- 表 8. Thatcham NVSA 要件—ビークル ID
- 表 9. 市場別の必須識別方法
- 図 10. SBD による車両 ID の分類
- 図 11. 可視タイプと秘匿タイプ
- 表 12. SBD による車両 ID の分析
- 図 13. VIN の構成
- 図 14. FAZIT を使った新しいコンポーネントの登録プロセス



主要国の車両 ID 基準の概要

	VIN プレート	シャシースタンプ	VIN ラベル	マイクロドット	ビジブル VIN	電子的 トレーサビリティ	エンジン番号 マーキング	ガラス エッチング
グローバル	必須	必須						
オーストラリア	必須	必須		任意				
ドイツ	必須	必須				任意		
南アフリカ	必須	必須		必須				
スウェーデン	必須	必須	任意		任意	任意	任意	任意
米国	必須	必須	必須		必須	必須		
英国	必須	必須	任意		任意	任意	任意	任意

SBD の基本理念

SBD は 1995 年の設立以来、自動車業界向け技術動向調査レポートやエンドユーザー調査といったサービスをグローバルに展開し、お客様の戦略構築をサポートしています。

SBD の技術エキスパートチームが、お客様の状況を正確に把握し、各国の市場ニーズ・技術要件の理解と費用対効果の高い製品開発を支援します。

本書の著者について



デイビッド・グリーン：自動車セキュリティ スペシャリスト

カーディフ大学機械工学科卒。これまで車両防盜性と車両所有コストに関する数多くのプロジェクトに携わり、現在は自動車メーカー 1 社の専任となって英国の保険グループレーティングプロセスに関する業務を担当している。また、グローバルな保険・防盜要件に関する最新情報の調査にも従事。専門はスマートキー技術であり、同分野のレポートを多数手掛けている。

本書のご購入形態

※下記は税抜価格です

レポート名	日英対訳版 製本+PDFレポート
車両 ID のためのグローバル戦略 (SBD/SEC/2313)	¥ 250,000

お問い合わせは下記まで

SBD ジャパン

担当：太田 千絵

E メール：cohta@sbdjapan.co.jp

Tel：052 253 6202

製品開発と市場戦略における正しい選択

最新の業界技術が既存及び開発中の自社製品へ与える影響や今後の対策について SBD では、お客様のニーズに合わせたコンサルティングサポートサービスを行っています。

自動車盗難傾向をいち早く把握し、市場の変化に迅速に対応するために自動車セキュリティに関する SBD の豊富な知識とデータをご活用ください。SBD のコンサルティングサービスの詳細につきましては SBD ジャパン (太田/cohta@sbdjapan.co.jp/052-253-6202) までお問い合わせください。

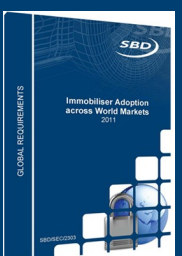
関連レポート



欧州 LHD 市場の防盜性向上

欧州での防盜機能の装着率増加がセキュリティビジネス戦略に与える影響とは？本書は欧州の 5 大乗用車市場であるイタリア、スペイン、ドイツ、フランス、英国における防盜機能の装備レベルを比較・分析しています。更に各国における販売台数および盗難台数の上位 10 モデルを特定し、それぞれのモデルに搭載されているアラームシステム、ダブルロック、盗難車回収 (SVR)、ビジブル VIN といった主な防盜機能について調査しています。

レポート番号：SBD/SEC/2311



世界各国のイモビライザ採用状況

イモビライザは、自動車盗難防止に対して大変有効なツールであることが立証されています。しかしながら世界各国で法規制や保険要件が異なるため、どのタイプのイモビライザがそうした基準を満たすのかということは必ずしも明確にはなっていません。SBD の調査レポートでは、現在適用されている要件について明確に解説するとともに、各市場で最適なイモビライザ性能について検証します。また、必要最低限の法的要件に準拠するそれぞれのイモビライザの違いと、最新のハイテク盗難手法に対して有効なシステム性能についても分析しています。

レポート番号：SBD/SEC/2303